

七 養 だ よ り

発 行

青森県立七戸養護学校

青森県上北郡七戸町字蛇坂 57-31

TEL (0176) 62-2331

FAX (0176) 62-4535

ホームページ

<http://www.shichinohe-shien.asn.ed.jp>

「共に学び、共に育つ学校づくり」
校長 伊藤 良輔

学校は、子どもたち一人一人が安心して学び、自分らしさを発揮できる場であると考えます。そのためには、互いの違いや個性を認め合い、支え合いながら成長できる環境づくりが大切です。

子どもたちはそれぞれ得意なことや苦手なこと、興味や関心が異なります。学習や生活の中で多様な考え方に触れることで、他者を理解し尊重する心が育まれます。教師は子どもたちの良さや努力を積極的に認め、成長を温かく支えることで自己肯定感を高めることができます。また、失敗を責めるのではなく挑戦を評価する姿勢を大切にすることで、安心して学べる学校づくりにつながります。さらに、認め合う関係は子ども同士だけでなく、教職員、保護者、地域にも広げていく必要があります。

教職員が互いの専門性を生かして協力し、保護者や地域と目標を共有して子どもたちを支えることで、学校全体が温かな学びの共同体となります。特別支援教育においても、一人一人の実態や教育的ニーズを理解し、その子らしい成長を支援することが大切です。小さな成長や努力を認め合うことで、子どもたちは自信をもち、仲間と共に学ぶ喜びを実感できます。誰もが自然な笑顔で成長できる学校づくりを進めていきますので、引き続き、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



未来を照らす光と希望を紡ぐ日々
教頭 太田 美千之

本校に赴任し、気づけばもう7月です。管理職として学校経営に携わる中で、本校教育活動の奥深さと温かさを日々実感しています。社会に開かれた教育課程の実現や教育活動の工夫、一人一人の実態に寄り添った支援の在り方など、私のこれまでの経験に新たな視点と思考が加わり、大きな学びとなっています。とりわけ子どもたちとの触れ合いは何よりの喜びであり、笑顔で交わす挨拶や懸命に作業する姿を目の当たりにするたび、確かな成長と自立に向けた可能性の広がり強く感じます。同時に、子どもたちの健やかな成長を支える学校教育の責任の重さとやりがい改めて胸に刻んでいます。

また、教職員は明るく親しみやすい雰囲気の中で互いに支え合い、よりよい教育と支援を目指して日々研鑽と努力を重ねています。子どもたちへの深い愛情と情熱にあふれ、それぞれが専門性を発揮しながら協働し挑戦する姿は、本校の何よりの強みです。私はこのような恵まれた環境の中で新たな気づきや多くの学びを楽しみ、充実した日々を過ごさせていたいただいていることに心から感謝しています。今後も、保護者や地域の皆様と連携・協働しながら地域に根ざした特色ある学校づくりを目指し、その特色を生かして児童生徒が輝く教育活動の充実に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「児童生徒会役員になって」

児童生徒会 会長 久末愛結

私が児童生徒会会長になった理由は、最初は周りから薦められやってみようと思いましたが、私自身生徒会長をやってみたくて思ったからです。この一年間で学校のリーダーとして皆さんの意見をまとめる力を身に付け、将来に生かしていきたいと思っています。明るく笑顔が溢れる学校にするために頑張りますので一年間よろしくお願いします。

児童生徒会 副会長 甲田莉紗

私が児童生徒会副会長になった理由は、みんなが明るく元気に登校できる環境作りをしたかったからです。そのためには、誰かが困っていたら助け合えるようにしたいです。そしてうれしい時は、みんな喜び合えるような環境にしたいと思っています。一年間よろしくお願いします。

児童生徒会 書記 佐藤琉弥

僕が児童生徒会書記に立候補した理由は、明るいあいさつで、みんなを元気にしたいと思ったからです。書記として、人の話をよく聞いたり、分かりやすくまとめて書いたりできるように、頑張っていきたいと思っています。また、生徒会長や副会長を助けていきたいです。

一年間、よろしくお願いします。



小学部
低学年参観日
「体育・スポレク七戸」

保護者の皆様、参観日当日のご協力、ありがとうございます。保護者の皆様に参加していただいたことで、子どもたちは大喜びでした。感謝申し上げます。

ご覧いただいたラジオ体操、十五メートル走、ダンス、玉入れ、ふれあい運動は、全て子どもたちが約一ヶ月半、体育の時間に練習してきた活動です。参観日当日は、子どもたちみんながとても頑張つて、いいところを見せてくれました。一方で私たちは、子どもたちが、まっすぐ走れるようになったり、ルールを理解できるようになったり：少しずつですが成長の段階を間近で見ることができました。

「おうちでもふれあい運動をやってみてね」と話しましたが、やってみましたが？まだのお友達！おうちの人にお願ひしてぜひ、やってみてくださいね！

(中村睦美)

小学部
高学年参観日
「スポレクin七戸アリーナ」

六月二十六日(金)、小学部参観日(スポーツレク)が行われました。四、六年生は、七戸町総合アリーナで、障がい者スポーツ体験を行いました。

障がい者スポーツ体験では、二つのグループに分かれて、フライングディスクとボッチャを行いました。保護者の皆さんの声援を受けながら、それぞれのグループで、とても盛り上がり 있었습니다。子ども同士で応援し合う姿もたくさん見られました。

最後は親子一緒に「青の煌めきダンス」を踊りました。お子さんのダンスをお手本にしながら、たくさんの保護者がダンスに参加していました。スポーツを通して、親子や友達同士でふれあう様子が見られて、とても素敵な参観日になりました。

(田鎖 高寛)



中学部

参観日
「親子サッカー教室」

七月三日(金)、中学部参観日に、八戸市のプロサッカーチーム「ヴァンラーレ八戸」をお招きし、親子サッカー教室を開催しました。本校では初めての取り組みでしたが、コーチの皆様の丁寧で元氣いっぱい指導のもと、子どもたちは生き生きとボールを追いかけて、笑顔で活動することができました。親子でパスをつないだり、一緒に体を動かしたりする中で、自然と会話や笑顔が広がり、温かなふれあいの場となりました。

地域のプロスポーツチームとの貴重な交流を通して、運動する楽しさや人と関わる喜びを感じることができた、思い出に残る一日となりました。ご協力いただいたヴァンラーレ八戸の皆様、ご参加いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

(江刺家 敦子)



高等部

「新たな挑戦
『輝け！高等部』」

【第一学年】

入学して三ヶ月が経ち、徐々に学校生活にも慣れ、作業などの様々な学習に取り組んでいます。六月には事業所見学で働く先輩の姿を見たことで、進路についての情報を得る機会となりました。

【第二学年】

五月に校内実習、六月には産業現場等における実習を行いました。産業現場等における実習は、初めて二週間行いました。疲れた様子はあるものの、学習の成果と今後の課題を振り返ることにつながる貴重な機会となりました。

【第三学年】

四月に社会科見学(青森市)、五月は産業現場等における実習、六月は修学旅行(東京方面)と大きな行事が続きました。修学旅行では自分たちで計画を立てて行動して立派でした。

(西坂 明)

